

第40号会報

発 行 都留文科大学同窓会事務局

責任者 渡邉正司

山梨県都留市田原3-8-1

20554-43-4341



本社ヶ丸から望む富士山 写真提供 浅川 博氏

^{月窗會} 都留文科大學

学訓のごとく

都留文科大学同窓会長

河端雄一



同窓会員の皆様方におかれましては、日頃より本会の活動に対しまして、ご支援とご協力を賜り衷心より 感謝申し上げます。令和3年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の蔓延により、公私ともに多くの影響があるかと拝察いたします。

私事ですが、12月12日(日)に本学合唱団演奏会に行ってきました。活動の制限を余儀なくされる中、ステージに立つ団員の姿はたくましく、その歌声から美しさと共に力強さも感じました。

本学の学訓は「箐莪育才」。そこには、「莪(つのよもぎ)が勢いよく成長するように学生が成長して欲しい」との願いが込められています。

合唱団に代表されるように、学生達は日々学問に課外活動に向き合い、ご指導をいただきながら諸課題を乗り越えようとしています。そのような中から学訓のごとく成長する姿を目にした時、本学の学生を頼もしく感じます。

令和3年は、東京オリンピック・パラリンピックが 開催された年でもありました。ここでは本学同窓生が 活躍されている様子を知ることができました。

陸上競技男子20km競歩で銅メダルを獲得した山西 利和選手の指導に関わっておられる船越康平さん(国 文学科 H8年度卒)。また、パラリンピック開会式でコーチ及び役員代表として宣誓をされた谷口裕美子さん(初等教育学科 H3年度卒)。※お二人は本学陸上競技部に在籍されていました。

お二人をはじめ、この他にも選手や大会運営を支え た方々がいらっしゃいました。本学での学びが多くの 人々の成長を促し、影響を与えていることは大変素晴 らしいことです。

同窓会の活動においても、これまで通りの活動が難 しい状況ではありますが、各支部でオンラインによる 学習会や模擬面接等を実施されているとのこと。支部 役員の皆様のご尽力に敬意を表します。

このような活動が行われている背景に、同窓生の皆様が大学を愛する温かい心を感じます。またその心には、本学の学訓がしっかりと根づいているのだと考えます。そして、各支部の活動を支え、推進されている姿を、同窓生として誇りに思います。

新型コロナウイルス感染防止対策に関わっては、新たな変異株が確認される等、先の見通しが立たない状況が続いています。しかし、学訓のごとく成長しようとしている本学や学生達、そしてそれを支える同窓会が課題を乗り越えるべく、知恵を出し合えるチャンスでもあると考えます。都留での学びをより前に進む力に変えていきましょう。

結びに、本学がより発展していく姿等を皆様とお会いして語り合える日が1日も早く来ること、会員の皆様方がご自愛され、ご家族とともに平穏な日々を過ごされることを願い挨拶と致します。

都留文科大学同窓会役員

役	職名	氏	名	卒	科
名	誉会長	藤田	英典	学	長
会	長	河端	雄一	S6	3初
副	会長	桐井	幸雄	S3	2初
		杉中	康平	S5	9初
		笹本	忠彦	S6	2英
		渡邉	正司	S6	3初
庶	務会計	小口	尚良	S6	O初
		原田	裕太	Н7	7初
		平井	鉄二	大学課	長補佐
事	務局長	奥脇	美穂	H 1	初
事務	絹次長	浜欠	亮吉	S3	9国
		外川	正純	S4	6英
		梶原裕	一郎	H1	2初
監	事	淡野香	百合	S3	9初
		相川	洋子	S5	2英
理力事	比海道支部長	北田!	則章	S5	6英
l l Ē	青森県支部長	遠藤は	み子	S6:	3初
(支部長	詳県支部長	高橋	節夫	S5	6英
įį į	城県支部長	片岡:	有吾	S6	3初
L	形県支部長	白林	和夫	S6	O初
Ä	島県支部長	大竹:	豊紀	S3	9初

		HAE	且人们人
谷	え 職 名	氏 名	卒 科
理	茨城県支部長	長岡省一	S55英
事(栃木県支部長	平野見一	S54英
(支部長	群馬県支部長	齋木雄造	S52国
長	埼玉県支部長	西敬	S56初
_	千葉県支部長	川名和則	S51英
	東京都支部長	松本多加志	S44初
	神奈//県支部長	山田節朗	S45初
	新潟県支部長	池原栄一	S50初
	富山県支部長	城岸 毅	S54初
	石川県支部長	谷内誠一	S50英
	福井県支部長	佐藤康裕	S61初
	山梨県支部長	一瀬英治	S46国
	長野県支部長	市場香代子	S60英
	岐阜県支部長	清水久司	S53国
	静岡県支部長	臼井 泰	S46国
	愛知県支部長	百瀬 隆	S59初
	三重県支部長	田畑繁行	S53初
	滋賀県支部長	松嶋孝雄	S46初
	京都府支部長	枡谷雄三	S44初
	大阪府支部長	藤田明彦	S57初
	丘庫県本部長	高谷和々	S43初

谷	段職 名	氏	名	卒	科
理事	奈良県支部長	岡田	善英	S4!	5初
_	和歌山県支部長	谷口	専保	S5	初
(支部長	鳥取県支部長	岡田	栄子	S50)初
畏	島根県支部長	小藤	貢	S44	4初
	岡山県支部長	関野	支夫	S58	3初
	広島県支部長	小谷	挂司	S44	4初
	徳島県支部長	小倉	建司	S50	3英
	愛媛県支部長	谷川	忠孝	S42	2初
	高知県支部長	前田	志郎	S48	3初
	長崎県支部長	平山	緊壽	S44	4初
	熊本県支部長	永田	好文	S47	7初
	宮崎県支部長	取附	義弘	S5	初
	鹿児島県支部長	本田	武久	S40	3国
	沖縄県支部長	比嘉	正夫	S50	3英
理	北海道	加藤	生栄	S5!	英
事	東北ブロック理事	鎌田	清	S47	7初
	兵庫県	赤穂	榮一	S40)英
		比志	秀樹	S5	玉
		高橋	進二	S60)初
		諏訪	生一	S5	7国
		玉島	正隆	S59	9初

役職 名	氏 名	卒 科
理事	小林隆章	S52初
]	遠藤建生	S58特
	平井昌秀	S59初
	内藤郁夫	S48国
	若林四郎	S31商
	千野文雄	S48英
	小尾宗彦	S52英
	石井正己	S51初
顧問	後藤 敬	S33商
	佐藤唯一	S32初
	佐藤英雄	S38国
	輿石 東	S32初
	山縣永良	S39国
	勝俣武男	S41初
	永田清一	S46国
	千野文雄	S48英
	亀田孝夫	S51英
	原 喜雄	S53初
	加藤一雄	S53初
	柏木精一	S57初
		110111

令和4年2月1日現在

都留文科大学の 現在と将来

都留文科大学学長

藤田英典



この2年間、学長就任を引き受けたときには予想だにしなかった新型コロナウイルス感染症への対応に追われることになりました。そこで、以下、①コロナ対応、②学生確保と志願状況、③本学の最近の評判と教育の質向上と魅力向上戦略について紹介します。

コロナ対応の経緯は、概略、以下の通りです。着任 1年目は入学式が中止となり、最初の緊急事態宣言発 令を受けて4月22日から授業は原則として遠隔方式に なりましたが、後期は第2波が拡大してはいたものの (第2・第3波中の学内の感染9名)、文科省の方針も 受けて、基礎疾患等のある学生・教員にも配慮し、受 講者数100人以下の科目を中心に感染防止策を講じて 対面で行うことになりました。令和3年度は、第4波 が拡大傾向にあり、東京都に緊急事態宣言が発令さ れ、周辺県でも「まん延防止等重点措置」が講じられ ていたものの、前年度までの経験も踏まえて、受講生 数の多い共通科目などは遠隔で行い、それ以外(約7 割)は対面で行うことになりました。しかし、感染力 の強いデルタ株による第5波が急拡大し始め、7月12 日から東京都に4回目の緊急事態宣言が発令され、加 えて7月30日には本学でも学内感染が出たため、学生 の学内立ち入り禁止等の措置を講じることになりまし た。それ以降も学内感染者は増え続け9月8日には累 計28名に達しましたが、第5波の急激な収束に伴い、 それ以降、新規感染者は出ていないので、後期も授業 は前期と同様の方針で対面中心に実施されました。

学生確保と志願状況は以下の通りです。私立では2000年から定員割れの大学が増え始め、06年から16年までは4割を超えていましたが、その後は減少に転じたものの、20年度も31%となっています。本学は幸い学生確保は順調で、定員730名に対して800名以上をキープしています。しかし、志願者数は1990年代から漸減傾向にあり、2000年代以降は比較文化学科、国際教育学科の増設と社会学科の地域社会学科への再編があったにもかかわらず、4000名台が続いています。それでも入学定員の約6倍ですから、悲観する必要はないかもしれませんが、多いに越したことはありません。

本学の評判については、大学通信ONLINEによる「小規模だが評価できる大学ランキング2020」という調査で、本学は東京以外の関東・甲信越で1位、全国では8位となっています(上位3校は国際教養大、武蔵大、国際基督教大)。教育の質向上については、昨年、将来構想委員会を設置し、学科再編・カリキュラム改革等について審議中です。最後に、魅力向上戦略については、旧南都留合同庁舎の全面改修中で、23年4月からは都留文の魅力の1つになるはずです。また、22年度には「富士山音楽祭」「富士山映画祭」「富士山講座」(文学祭を含む)を柱とする「富士山プロジェクト2022」を開催し、YouTubeなどで発信する予定です。同窓会のみなさんには是非とも、これらの機会に懐かしいキャンパスにお越しいただければ幸いです。

令和 3 年度 都留文科大学同窓会都道府県別会員数

No	県		名	会員数
1	北	海	道	589
2	青	森	県	261
3	岩	手	県	650
4	宮:	城	県	583
5	秋日	\blacksquare	県	272
6	山	形	県	386
7	福,	島	県	743
8	茨:	城	県	490
9	栃:	木	県	500
10	群,	היי	県	402
11	埼	¥	県	548
12	千	葉	県	600

No	県	名	会員数
13	東京	都	1,291
14	神奈川	川県	1,217
15	新 潟	県	653
16	富山	県	696
17	石川	県	625
18	福井	県	540
19	山梨	県	3,972
20	長 野	県	1,273
21	岐 阜	県	574
22	静岡	県	1,671
23	愛 知	県	1,204
24	三重	県	398

	No	県	名	会 員 数
	25	滋賀	県	106
	26	京都	府	253
	27	大 阪	府	453
	28	兵 庫	県	824
	29	奈 良	県	85
	30	和歌山	県	192
	31	鳥取	県	161
	32	島根	県	217
	33	岡山	県	405
	34	広島	県	482
	35	山口	県	156
	36	徳 島	県	436
Ī				

No	県 名	会員数
37	香川県	150
38	愛媛県	341
39	高知県	83
40	福岡県	216
41	佐 賀 県	78
42	長 崎 県	220
43	熊本県	184
44	大 分 県	112
45	宮崎県	158
46	鹿児島県	343
47	沖縄県	243
48	外国·不明等	10,277
		1

合 計 36,313

On retirement from Tsuru

都留文科大学退官教授 英文学科

ハウエル エバンズ



Looking back, I've had an amazing life so far. And I'm really looking forward to the next stage, with a return to Tokyo bringing me full circle on my adventure in Japan. After the socially distanced experience of the last couple of years, it's tremendously exciting to be returning to the big city.

Growing up in the docklands of southeast Wales, I could never have imagined even a quarter of the things that have happened to me over the last forty-plus years as a teacher. If I had to offer advice to anyone, it would be "Never be afraid of a challenge, even when you feel sure you have zero hope of success." You never know until you try. Even so, I am very aware that any success I have enjoyed is due to the people have helped and supported me, particularly my wife and daughter.

I originally came to this country as a language teacher via north Africa. It was literally a case of "In the deserts of Sudan, And the gardens of Japan" to quote the great English librettist and lyricist Ian Dury. Throughout my experience of the joys and rhythms of everyday life, I have come to realize the true value of education as a lifelong endeavor. Within that context, I am most grateful for the cooperation and efforts of my students. If I have made any contribution to extending their choices and opportunities, I will feel satisfied.

Work at this university, both part-time and full-time, has formed a significant chunk of my overall experience, and I'll be staying on as a part-timer for a little while at least. I'm extremely grateful to everyone who has helped me during my time here.

挑戦を恐れないで! You never know until you try.

非常勤から専任まで長きにわたりお世話になった都留文 科大学を去ることとなりました。振り返ってみると、人生 の大きな部分を雄大な富士山のふもとのこの小さな大学で 過ごしたことになります。この小さな大学が私の人生に とっては大切な大きな財産となりました。

ウエールズ東南部で育った私は大学卒業後、20歳代半ばで北アフリカを経由して語学教師としてこの国に来ました。英国の偉大な脚本家・作詞家イアン・デューリーの言葉を引用すれば、それは文字通り「スーダンの砂漠から日本の庭園へ」という旅でした。日本での生活のなかで喜びやリズムを体験しながら、生涯にわたる歩みとしての教育の意味を実感してきました。

私たちはみな学びの途中にあるのですが、少し年齢の高い私が若き学生の皆さんに伝えられることがあるとしたら「挑戦を恐れないで」ということです。あなたが今描いている未来は成功する望みは低いかもしれない、しかしやっ

てみないとわかりません。挑戦しないかぎり成功の望みはずっとゼロのままです。You never know until you try.

学びの喜びや悩みを共にしてきた学生の皆さん、スムーズな運営に努力してくださる大学事務局の皆さん、そして家族の支えがあったからこそ、ここまでやってこられたと感謝しています。本当にありがとうございました。もうしばらく非常勤としてお世話になりますので、よろしくお願いいたします。

学生の皆さん、小さな都留文科大学はあなたの人生に きっと大きな財産を残してくれることでしょう。私にとっ ての都留文科大学がそうであったように。

卒業生をよろしく お願い致します

都留文科大学退職教授 教養学部地域社会学科

鈴木哲雄



同窓会の皆様には、自己紹介と退職のご挨拶が一緒になってしまうこと、お許しください。

私は、4年前に設置された教養学部地域社会学科の地域 史担当として着任いたしました鈴木哲雄と申します。前任 は北海道教育大学です。千葉県出身で、大学の教員になる までは、23年間、千葉県などで高校の教員をしながら、中 世東国の地域史研究や地域史学習の教材作りなどに取り組 んできました。

着任時の『学報』には「学生の皆さんとともに、地域史

研究の観点から『地域に学び、地域から考える』ことをすすめて行こうと思います。」と書かせていただきましたが、退職間際の2年間は、コロナ禍の影響で思いもよらぬ教員生活となりました。もちろん、学生の皆さんの学業上、生活上の困難が如何ばかりであったか、あるか、を思えば私の教員生活などどうでもよいことですが。

4年の短い期間でしたが、地域社会学科の同僚の皆さんの温情と事務職員の皆さんの献身的なご支援をたまわりながら、私の担当した地域史ゼミにおいても8名の卒業生を送り出すことができました。本年度の卒業生が、教養学部地域社会学科としては初めての卒業生ということになります。

多くが出身地などに戻り、「地域に学び、地域から考える」ことができる有為な人材として各地域で活躍してくれるものと思います。改めて、同窓会の皆様による温かなご支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、都留文科大学同窓会の益々のご発展 をお祈り申し上げる次第です。

活躍可る同窓生

都留の街とともに

山梨県都留市教育長

上 野 清 (昭和50年度 国文学科卒)

あることが恨めしくも感じられた。



私は、昭和47年4月に本大学に入学した。高校卒業後は、 生まれ育った都留市を離れて生活することが望みでもあっ

もうあれから "半世紀"が過ぎようとしている。

たので、正直なところ、諸手を挙げてその状況を喜んだということでもなかった。大学に入ったら「自由な時間が増える=遊べる」という不届きな気持ちも、当然のごとくあったので、家族や知り合いの目の届く地元での生活がさらに続くのかと思うと、本大学が自分の生まれ育った街に

私の実家は、今は既に道路の拡張によって跡形もないが、大学から歩いて15分ほどの所に在り、当時は母屋の隣に大学生相手のアパートも建っていた。そんなこともあって、入学後、大学構内で、アパートの住人である先輩方が、「大家の息子」に親しく声をかけてくれるのだが、心強く思う反面、私の素性を知っている先輩方が少々煙たくも感じられた。

尤も、そんな思いは、ほどなく沈静化していた。入学以来、付き合いが始まった気の置けない友人たちと過ごす大学生活の中で、そこそこの刺激とともに、自分自身を振り返る機会も得て、何となく我が居場所が見つかったような気分にもなれたからだ。

我が家のアパートも、年度が替わる毎に、空いた部屋に 私の知り合いが入るようにもなった。当時ハンドボール部 に所属していた私が先輩風を吹かせるようになった頃に は、部の後輩たちも入居するようになり、さながら合宿所 のような雰囲気になっていった。ここをベースに良き仲間 たちと共に、いろいろな社会勉強も積むことができた。そ の後、今日までの付き合いを含め、良き友を得、彼等とそ れなりに充実した時間を共有できたことは、言うまでもな く、私の財産の1つでもある。

平成26年3月、都留市内の私の母校でもある中学校の校長を最後に38年間の教員生活を終えた。その4年後の平成30年の秋、教育長への就任の要請をいただいた。私としては「青天の霹靂」とも言えるお話だった。本市においては40数年ぶりの義務教育畑からの教育長ということでもあっ

たので、長年の教育現場での経験を今後の都留市の教育施 策等にどう生かせるのかが問われる、と重い荷物を背負っ て坂道を上る心境でのスタートとなった。

それから早3年、1期目の任期を終え、再任されるところとなった。1期目の半分の期間はコロナ禍での取り組みだった。この間、学校教育のみならず教育行政全般にわたり、市民の安全確保に努めることを優先しつつ、活動の維持についての可能性を探る日々の連続でもあった。そうした中で、本市では市内小中学校の教職員に対し、他市町村に先駆けて、ワクチンの優先接種を行った。

都留市は、ご承知の通り、人口3万人ほどの小さな街だが、都留文科大学の他、県立産業技術短期大学校、健康科学大学看護学部を有し、これまで様々な教育に関わる環境の整備に努め、「教育首都つる」を標榜するまちづくりに取り組んでもきた。

そのうちの1つが、「学生アシスタント・ティーチャー」所謂、SAT(サット)の活動である。本大学の学校教育学科の3年次生を中心に250名を超える学生が、学校現場活動として年間で20日以上、市内の小中学校の児童生徒の学習支援に携わるこの活動は、教員志望の学生の資質向上、現場の教員の意識の活性化、子ども達の学力向上等で、その有益性が評価され、本市の学校教育の特色の1つともなっている。この活動における学生の教職への意欲を見ていると、昨今の全国的な教員の採用倍率の低下傾向が嘘のようにも思える。改めて、教職に希望を持って臨む学生が増えることを願ってやまない。

現在、課題は山ほどもあるが、本市の目下の大きな課題の1つは、多くの自治体同様、少子化傾向とも相関する小中学校の規模・配置の適正化の問題である。現在に至るまで過去30年間で、本市の小中学校の児童生徒数は半減している。そんな中で、3年ほど前に立ち上げられた「小中学校適正規模等審議会」の答申を受け、教育委員会として、子どもの学習環境を大切にしていくことを念頭に、長・中・短期的な方向性を策定したところだが、短期的には、ここ数年の間に数校の統合を実施する計画でもある。まだまだ険しい坂道を上らなければならない。

「活躍する同窓生」という表題は、まさに「汗顔の至り」だが、こうした機会をいただいたことには感謝申し上げたい。私がこうして教育に携わって生きてこられたのは、やはり周りの人たちのお陰だとつくづく感じる。この「振り返り」を通して、良き友や周囲の方々に感化されたこと、或いはご教示いただいたことが、改めて鮮明に浮かんできた。

活躍可る同窓生

「犠牲者ゼロ」を 実現する防災教育 を目指して

川崎杏樹



①はじめに

私は岩手県の沿岸部にある釜石市鵜住居町出身です。高校卒業後、山梨県から遠く離れた岩手県を出て、都留文科大学に進学しました。その後、大学で過ごした2015~2019年の4年間は、今までの人生の中でも最も濃い時間だったと感じます。

大学時代は勉強だけでなく部活動にも力を入れていました。部活動では少林寺拳法拳士会に所属し、日々練習に明け暮れておりました。この時に苦楽を共にした仲間は現在でも頻繁に連絡を取り合うほどの仲になりました。

卒業論文では、自身が中学校時代に受けた特色ある防災 教育を、享受する生徒の立場とそれを推進する教師の視点 の両方から取りまとめました。

②人生を変えた東日本大震災

私が中学校2年生の時に、東日本大震災が発生しました。地元である釜石市鵜住居地区は、津波で甚大な被害を受けました。通っていた中学校も3階まで波を被りましたし、私も津波がまちを飲み込む様子を見ていました。それでも、私の通っていた中学校で学校の管理下にあった生徒は、無事に津波から逃げ切ることができました。私も無事に逃げ切った1人です。

地震の直後、避難行動を開始し、地域の方の助言などもあって、海抜44mの峠まで逃げ切ることができました。その後避難所で1週間ほど過ごし、家族とも再会しました。

この経験が、私の人生を変えました。震災があったから 今の仕事がありますし、矛盾しているようですが地元のこ とを好きになることができました。震災がなければ地元に は今帰ってきていないかもしれません。

③命を救われた防災学習

小中学生の迅速な避難を可能にした要因は様々ありますが、そのひとつは防災学習にあると考えています。私が通っていた釜石東中学校では、例えば、津波の威力を具体的に想像し危機感を抱くことが出来るよう、地上での津波の速さと同じ時速36kmの車と生徒の追いかけっこが行われました。小学生との合同避難訓練では、ケガをして自力では逃げることができない児童を中学生がおぶって逃げるというものや、あえて指定の場所に逃げないよう数名の生

徒に指示を出し、整列の際に人数が足りないことに気づき 報告することができるのかを試す取り組みもありました。

どの学習においても共通して、生徒たちの主体性を引き出すために、「楽しい」と思わせる要素を取り入れていました。命を守るための学習だからこそ、形式的なもので終わるのではなく、生徒たちが楽しみながら本気で取り組みたくなるような仕掛けが散りばめられていました。結果的に、当時学校管理下にいた生徒全員が無事に避難することができ、地域の方の避難も促すことができました。

震災後も、独自の防災学習の取り組みが行われています。例えば、下校時避難訓練や、てんでんこレンジャーが幼稚園に出張するなどの取り組みが行われています。震災時は、大半の小中学生が生還した一方で、学校を休んで自宅にいて亡くなってしまったような子もいましたし、多くの地域の方々が犠牲になってしまいました。その教訓から「犠牲者ゼロ」を目指し、より実践的かつ地域を巻き込んだ取り組みが行われています。

④いのちをつなぐ未来館について

今は、地元の釜石市鵜住居地区にある震災伝承と防災学習の施設「いのちをつなぐ未来館」で、語り部として勤務しています。普段は語り部や防災ワークショップの企画運営、施設管理の業務を担っています。

館内の展示では、釜石市内での被災状況や、子ども達の 避難経験について紹介しています。また、各種プログラム では、語り部や避難道の追体験の他、防災リュックづくり や防災運動会、防災ウォークラリーなど、楽しみながら気 軽に防災知識に触れることができるような仕掛けを用意し ています。そして、震災のことをより詳しく知りたい企業 や教員の方向けに、震災の事例に学ぶ研修プログラムも提 供しております。コロナ渦では、オンライン語り部やオン ラインプログラムの開発にも挑戦しています。皆様にもぜ ひ、1度足を運んでいただけたら幸いです。

⑤最後にメッセージ

災害は必ず起こりますが、助かることができます。私自身も、実際に震災が起きるまでは、津波は「いつか」来るものとしての認識はありましたが、まさか「今」来るとは少しも考えておりませんでした。しかし災害は本当にやってきてあっという間に私達から暮らす町も学校も、家も大切な人もすべて奪っていきました。普段から「いざその時」が来たら、どこに避難するか何があれば助かるのかをリアルに想像し、備えて頂きたいと思います。

これからも未来のいのちを守るために、震災の出来事を 語り継いでいきたいと思います。

静かに迎えた支部創立50周年

北海道支部長 北田 則章

北海道は、支部創立50周年の節目を迎えましたが、東京五輪の頃がピークだった新型コロナ第5波の状況等を勘案して、2年連続となる書面形式による総会の実施を決定し、道内の会員宅へ総会議案書とともに50年間の歩みなどをCD-R2枚組に収めた「創立50周年記念データ集 1971-2021」を郵送しました。

議案に対する異論などは特になく、記念データ集をご覧に

なった感想などのメールやお手紙を数名 の会員から頂戴しました。 データ集に は、残部がありますので、ご自宅に届か なかった方は、同窓会の本部事務局を通 じて、ご一報ください。



10月以降、全国的には新型コロナの新規感染者数が一気に減少したものの、今度は変異株の出現に懸念が高まっています。北海道では、新規感染者の確認が途切れることなく続いているため、今冬が正念場になると考えています。果たして、令和4年の春先には、どんな状況になっているのやら…。

第51回総会・懇親会・講演会は、令和4年8月6日(土)に 札幌市の「ホテルライフォート札幌」で開催すべく、会場を仮 押さえしています。このままコロナ禍が収束して、会員の皆さ んと3年ぶりの対面再会が可能となることを願うばかりです。

〈令和4年度一令和5年度役員(案)〉

支部長 北田 則章(昭和56年度 英文) 副支部長 山本 洋嗣(昭和55年度 国文) 中村厚喜夫(昭和52年度 初等教育)

> (未 定) (未 定)

事務局長 大花 学(昭和60年度 国文) 事務局次長 照山 秀一(平成元年度 英文)

桜田 琢(平成8年度 社会)

会計 神野 昌代(平成 4 年度 国文) 会計監査 西山 肇(昭和40年度 初等教育)

井口 郁将(昭和50年度 国文)

事務局員 吉田 俊介(平成24年度 英文) 赤間 圭城(平成25年度 国文)

(未 定)

顧問 日下 功(昭和32年度 初等教育)

熊谷 勲(昭和38年度 国文) 当銀 誠博(昭和39年度 初等教育)

横山 勲(昭和40年度 国文) 本部理事 加藤 佳栄(昭和55年度 英文)

北田 則章(昭和56年度 英文)

コロナ禍だからこそ大切にしたい人とのつながり

青森県支部長 遠藤 ゆみ子

青森県支部では、第4回都留文科大学同窓会青森県支部定期総会・懇親会を、昨年度同様中止とし、定期総会での審議事項(決議)については、書面決議としました。また、役員任期満了による役員改選についても、総会で決議しなければならないため、今年度も現役員の任期を1年延長し、次年度総会において、残期1年間の議案審議を執り行わせていただくことにしました。

発足して2年は、総会・懇親会を行うことができましたが、 その後活動ができていないことを残念に思い、今年は何かでき ないか考えてみました

コロナの蔓延で人々の生活様式は一変し、仕事場に行かず在 宅で仕事をしている人もいます。また、少人数のちょっとした 飲み会すら社会悪とされる傾向にあります。そのため、自宅に こもりがちになったり、家と職場の行き来だけで人との繋がり が少なくなったりしています。しかし、こんな時代だからこそ、 人との繋がりが大切だと考え、会員の皆様からメッセージを集 めることにしました。

ありがたいことに10数名の方からメッセージが寄せられ、来年の総会・懇親会開催へ向けての勇気をいただきました。また、東北ブロック理事の鎌田清先生からも励ましのメッセージ

をいただきました。その一部を紹介させていただきます。

- ・娘夫婦が今春からパリの日本人学校へ赴任し、私は今フランス語に挑戦しています。むずかしい!!
- 毎日コロナ感染状況を聞いて、一喜一憂しています。再び皆様に会える日を楽しみにしています。
- ・ネコ科属トラ年生まれの私は、TVでニャンコを見ては触りたいハグしたいとモフモフ萌えの毎日です。
- ・いつか皆で種差海岸を歩ける日が来るといいですね。
- ・コロナが収まったらいろいろな所へ旅行したいです。
- ・私は毎朝孫の集団登校の見守り活動やトラクターがけ、草刈りで忙しい日々を過ごしております。
- ・県下5チームによるリーグ戦初優勝。竹刀をバットに代えて 頑張っています。

以上のようなメッセージが届きました。一通一通届く度、本当に幸せな気分になりました。これも都留文科大学卒業生の特性のように思いました。今後も何とかして会員の皆様と繋がっていたいと思っています。

「何もできない」から「何ができるのか」を

宮城県支部長 片 岡 有 吾(石巻市立湊小学校校長) 昨年度に引き続き、支部の活動は大きく制限されています。 本年度は、支部の大きな活動の1つとなっていた「教員採用選 考対策研修会」は、やむなく中止といたしました。

しかしながら、こうした厳しい状況の中でも、6月には、同窓会宮城支部有志による「新任教員研修会」を開催しました。本年度、宮城県に採用された新任教員の悩みを聞いたり、アドバイスしたりする機会を設け、有意義な企画となりました。また、本年度の支部総会及び懇親会は、規模を縮小し、会場もコロナ対策を行った上で2月に開催予定です。(R3年12月現在)。

このように、「何もできない」と嘆くのではなく、こうした 状況の条件を踏まえ、支部として「何ができるのか」を役員中 心に常時検討してきました。

結びに、都留文科大学同窓会並びに同事務局、全国の同窓生の皆様からの温かいご支援に深く感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

〈令和3年度役員〉

名誉会長 鎌田光彦 鎌田 清

参 与 小野俊次 千葉龍正 菅野俊雄 菅原義之

伊藤常治 坂本忠厚

支 部 長 片岡有吾

副支部長 廣瀬清文 馬場純子 一條良介 市川人士

千葉睦子 及川恵子 片岡明恵 菅原佳江

事務局〈事務長〉 菅野俊雄

〈副事務長〉 髙橋克己 斎藤竜一 浅井理香

高野 剛 熊谷拓郎 大庄司華菜

会 計 横山英実 小野寺直美 伊藤ひろみ 杉浦瑞穂

地区役員 仙台市 蓮沼秀行 菅原 崇 佐藤文栄

仙 南 伊藤久美子 佐藤幸光 馬場純子

仙 台 高橋克己 吉田準子 齋藤竜一

大 崎 清水 進 伊藤 稔 市川人士

登 米 佐藤 純 及川恵子

栗 原 岩渕和男 後藤咲織

石 巻 高清水芙美枝 杉浦瑞穂 片岡明恵 気仙沼 小野寺直美 千葉慎一郎 菅原佳江

気仙沼 小野寺直美 千葉慎一郎 菅原佳江 部〈部長〉 一條良介〈副部長〉市岡良庸

研 修 部 〈部長〉 一條良介 〈副部長〉 監 事 横山貞夫 佐藤幸光 相澤光信

大学同窓会理事 鎌田 清 片岡有吾

「べにばな会」設立30周年に向けて

山形県支部長 白林 和夫

現在(12月)の時点ではコロナ禍も落ち着きを見せています が、皆様方には、引き続き困難な中で活動にご尽力されている ことと存じます。

昨年度の会報で、「山形県支部の総会を令和3年11月に延期 し、併せて役員の任期を同総会時まで臨時的に延期する」旨を ご報告いたしました。しかし、残念ながら総会の規模で会員が 参集することは困難と判断し、今回は役員会のみを開催した上 で以下のことを決議しました。(支部会員の皆様には、別途お 知らせしていることと思います。)

- ① 総会は、令和4年11月に実施を予定しています。
- ② 運営を明確にする観点から、総会~総会までとしていた役 員任期を会計年度と合わせて、4月~3月と改定し、令和4年 度は以下の役員で運営したいと考えております。

【令和4年度「べにばな会」役員】

問〉武田 茂行(初教・昭54年度卒) 〈顧 〈会 長〉原田 清一(初教·昭60年度卒) 〈副 会 長〉渡邉 隆(初教・平4年度卒) 〈会 計 監 事〉白林 和夫(初教・昭60年度卒) 〈理事・村山〉小川 秀人(国文・昭55年度卒) 鈴木 雄二 (国文・昭55年度卒) 〈理事・最上〉武田 茂之(初教・昭54年度卒)

敏幸(初教・平8年度卒) 佐藤

〈理事・置賜〉神尾 正俊(国文・昭55年度卒) 佐藤 英樹(初教·昭60年度卒)

〈理事・庄内〉奥山 広幸(初教・昭57年度卒)

中條 秀基(初教・平20年度卒)

「べにばな会」は、来年度で30年目を迎えます。見通しが不 透明な中ではありますが、来年度の総会は、ぜひこれまで以上 に多くの皆様方にお集まりいただき、都留の思い出話に花を咲 かせたいと考えております。よろしくお願いいたします。

栃木県支部設立3年目、志を新たにして前へ

栃木県支部長 平野 見一

栃木県、そして全国の同窓生のみなさん、こんにちは。夜な ら今はほとんど耳にしませんが「おばんです(こんばんは)」 ですね。

令和元年8月31日に全国41番目の支部として設立されてから 3年目を迎えました。早いものです。

関係各位のご理解とご支援を賜り「令和」の始まりの年に 「大学の発展への寄与」と「会員相互の親睦」という同窓会の 目的地の港に向けて順風満帆に意気揚々と出航しました。新た な出会いがありました。人生の忘れられない出来事の1つとな りました。

出航後すぐにコロナ禍の嵐に遭遇しました。先が見通せずに 目的地を見失いそうになりましたが、乗船者の支部会員のご理 解とご支援を受け、座礁しながらもある海岸に辿り着きまし た。そこがどこか分かりませんが、遥か遠くに富士山が時折見 えます。そこで海路から陸路に変更して先ずは富士山を目指し て、新たな志をもって目的地に進むことにしました。(よく考 えれば栃木県は海なし県。海路自体が幻であったのかも知れま せん。私の痛恨のミスです。)

今後も支部会員をはじめとした全国の同窓生の皆様のお力添 えをいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。 "Come ♪ Come ♪ Everybody ♪"

3年目の事業では、コロナ禍のために定期総会は規約に基づ き役員会による代替として書面決議で行いました。参集しての 役員会はコロナ禍の状況にもよりますが、令和4年3月までに 行う予定です。

最後になりましたが、都留文科大学と都留文科大学同窓会の ますますのご発展と全国の同窓生の更なるご活躍をお祈りいた

- ※ 写真の中心に見えるのは、栃木県日光の「小田代ヶ原の貴 婦人」と呼ばれる湿原に立つ1本のシラカンバの木です。栃 木県支部が「孤高の支部」にならないように…。
- ◆役 員◆ ※理事は省略させていただきました。

支 部 長 平野 見一 副支部長 柿沼 裕子 磯 佳子 事 菱沼 孝 齋藤 初代 事務局長 赤羽喜代美

※ 栃木県支部に新たに加入したい 方、興味・関心がある方は、平野ま でご連絡ください。

平野 見一

【携 帯】090-4662-1944

【メール】hira3ken3@hb.tp1.jp



あらためて コロナ禍であってもできる取り組みを

群馬県支部長 齋木 雄造

群馬県支部では、昨年から続く新型コロナウィルス感染症の リスクを回避するため、令和3年度の全ての事業の実施を見合 わせました。支部活動の企画や運営を担う「支部役員会」をは じめ、支部活動の中核をなす「総会・懇親会」、本県の教職を 志す学生のみなさんを支援する「教員採用試験模擬面接学習 会」など、やむを得ない中止でした。

しかし、同窓生の交流があってこその同窓会支部であること を考えますと、これらの取り組みが行えなかったことは、同窓 会支部の活動にとって、この上ない打撃となってしまいまし た。実際の問題として、同窓生のみなさんへは、支部情報の発 信が途切れてしまいました。また、教員採用試験を受ける学生 のみなさんへは、連絡や支援の手立てが講じられないままに なってしまいました。コロナ禍の対応であったからとはいえ、 悔いが残ります。

昨年度、本稿で「コロナ禍であってもできる取り組みを」と 記しました。この先、コロナ禍がどのようになるのか見通しは つきませんが、あらためて、「コロナ禍であっても……」、この 基本に立ち返って、その時の状況の中で取り組みが可能な方法 を探りつつ支部活動を再開させていきます。同窓生のみなさん へ情報をお届けできるまでお時間をいただきますが、何とぞよ ろしくお願いいたします。

〈群馬県支部役員〉

顧問 角田 達夫 (昭50英) 支部長 雄造(昭53国) 齋木

副支部長 原 俊明(昭60英)、土屋 勇 (昭58英)

事務局長 島田実恵子(昭45初) 金沢 和子(昭55英) 監事

池澤 博子(昭57初) 安藤 貴子(平6初) 庶務 整(平12社院) 古川 江原 悠一(平11英)



平成25年度総会から

千葉県支部からの報告

千葉県支部長 川名 和則

令和3年度は、一昨年から発生した新型コロナの影響で農・ 海産物価格や観光産業の低迷、緊急事態宣言に伴う不要不急の 外出自粛など、様々な対応を余儀なくされた。

夏には、「無理だ!無茶だ!」と思われた東京オリンピック・パラリンピックが無観客で開催され、全力で挑むアスリートの姿は『感動』を生んだ。コロナ禍で開催された大会から「数多く学んだことは無限だった」と評価したのは、私だけだろうか。さて、千葉県支部では、『現役大学生への教員対策研修会』が、今年も実施できなかった。代わりに、学校現場の先生方へ「コロナ禍で奮闘している学校の様子」を伺ってみたので紹介させていただく。

1 『学校行事』の精選

働き方改革の観点から行事削減が叫ばれている。しかし、児童・生徒の豊かな成長には学校行事は必須である。コロナ感染拡大防止のため、ほとんどの行事が無くなり、子ども達の不満は拡大。6年生の修学旅行の中止をはじめ、感染予防対策をしながらの行事の提案は、一工夫が必要なのは言うまでもない。学校は感染予防、GIGA スクール構想などの対応に追われ、目まぐるしい勢いで変化している。私たち学校現場の職員は、社会の変化に合わせ、アップデートしていく必要があると感じさせられた。(加養教諭:小学校)

1 『対面授業』実施の難しさ

2年ぶりの支部役員会を開催

石川県支部長 谷内 誠一

11月20日に約2年ぶりに支部の拡大役員会を開きました。コロナ禍で大学同窓会の理事会や学生の就職支援会なども中止が続いていたため、石川県支部の役員会や総会などもすべて自粛してきました。全国的な緊急事態宣言措置の解除や県内の新規感染者の増加が見られないため、役員会を開催することを決めました。17名の参加予定でしたが、都合の悪い方が2名あり、15名で開催しました。

役員会では令和3年度の決算報告の後、令和4年度の活動計画などの提案があり満場一致で承認されました。今年開設5周年を迎えた道の駅「つる」や、そこで行われている同窓会との連携事業についても報告があり、機会を見つけて是非訪れてみたいという声も多く聞かれました。これからの支部の主な活動方針として次の3つの内容を継続・発展させていくことが確認されました。

(1) 学生の就職支援活動(教員採用試験合格のための支援)を継続し、1人でも多くの卒業生が石川県教員として活躍できるよう応援していく。

約2ヶ月間の臨時休校により、予定されていた授業時数の確保が大変難しく、その対応に苦慮した。一部、リモートワーク学習を取り入れたが、普及できた家庭には限界があった。(細井教諭:高校)

Ⅰ 『部活動』の制限

入学して部活も頑張ろうとしていた子 ども達にとって、部活動の意義が重要で あることを再認識させられた。(中学・ 高校教諭多数)

1 『実技教科』の制限

体育、音楽、書道、美術などの実技授 業では、ソーシャルディスタンスをとる



①進路実現の対面授業(高校生)

②再開したディズニーシー

ため、一斉授業ができず、分割・個別授業で対応。しかし、声も出せず、コミュニケーションが取れないのは、生徒の成長にとって痛手であった。(中学・高校教諭多数)

このように、コロナ禍で失われた子ども達の『発達段階での成長機会』をどのように補っていくかがそれぞれ、今後の課題であることが見えてきた。

今や、日本を取り巻く近隣諸国はもとより、世界中が協調し、 本気になって地球や宇宙環境、そして、「現実の社会環境の再 生の充実」に猛虎のごとく突進しなければならない。更には、 日本だけでなく世界中の子ども達が笑顔で豊かな春が迎えられ ることを願いながら支部報告とさせていただく。

- (2) 支部組織の充実と継続を図るために、情報交換を密にしながら若い世代への活動参加を積極的に働きかけていく。
- (3) 11月に開催予定の令和4年度総会については、ミニ 研修会の実施など内容の充実を図るとともに、若い 人たちを誘って参加人数を増やし支部組織の拡充を 図る。

奥能登地区から南加賀地区までとても広がりが多く、移動面 などでの課題もありますが、今後も支部の一人一人が力を合わせて、活力ある支部活動ができるよう頑張っていきたいと思います。

新型コロナの感染予防のため、役員会での集合写真の撮影は 自粛させていただきました。

支部会員同士をつなげるアイテム

岐阜県支部長 清水 久司

岐阜県支部では昨年度延期となった支部総会が、今年度も再延期となりました。今年度中の実施は難しく、来年度の実施を計画しているところです。新型コロナの影響がここまで長引くとは思いもよらぬことでした。

ところで支部事務局では、毎年「支部だより」を年1~2回と年賀状を支部会員に送付しています。年賀状については、数年前に全会員への送付を取り止めることについて検討しました。しかし、手間と経費がかかっても継続することとなりました。会員の中には、事務局宛てに年賀状の返事を送ってくれる人が何人かいます。大変意匠を凝らした葉書を送ってくれる人もいて(その人の気持ちがこもっていて)毎年楽しみにしています。葉書1枚が会員間の交流に役立っていると思うと、年賀状を続けることにして良かったと思います。

さて、こういう状況の中で、職場や学校ではオンラインによる会議や授業が積極的に取り入れられるようになりました。通信技術の進歩はめざましいものがあります。実際自分もその恩恵にあずかっています。一方でゆうパック等を除く郵便物の取

り扱いは年々減少傾向だとか。年賀状については想像どおり、発行枚数や1人当たりの平均枚数も2003年をピークに減少が続いているそうです。

人との連絡手段が手紙である必要がなくなり、儀礼的なことも少なくなっていく昨今ですが、岐阜県支部では、今も紙ベースの「支部便り」や年賀状が会員間の情報共有・交流の場として重要な役割を果たしています。今後もしばらくは、続けていこうと考えています。

人と会う機会がめっきり少なくなったからこそ、手紙のよさを見直すきっかけにはなりました。しかし、やはり対面で何の気兼ねもなく会話が楽しめる時が来ることを心待ちにしています。2年間顔を見ることがなかった会員は皆変わらず元気でしょうか。次こそは、岐阜県支部総会が開催できることを祈念して、準備を進めていきたいと考えています。

コロナ禍で思う…

静岡県支部長 臼 井 泰

今年も新型コロナウイルスの感染拡大により各種イベントが中止・延期となり、同窓会理事会等も中止。悶々とした日が続きました。そんな中東京オリンピック・パラリンピックは強行、多くのアスリートが活躍しました。10月に入り、コロナも小康状態に入りましたが、またオミクロン株の発生、今後どうなることやら。早く収束してほしいですね。

さて、今年も静岡支部総会を中止致しました。本当に残念です。われわれ役員は、静岡県支部の会員の把握等を含め、今後どのように活性化するべきか悩んでいます。すでに鬼籍に入られた方の把握も十分ではありません。今後、往復はがき等で所在等の把握・確認を行うつもりですので、その際ご意見・お考えをお聞かせください。さらに最近の卒業生からの近況も伺いたいと思います。右記連絡先にご連絡いただけると有り難いです。

最後に、今年は日米開戦80年とのことで、各種メディアでも 開戦への経緯や当時の主要人物の日記等が取り上げられていま す。戦後生まれの我々は戦争をどれだけ語り、聞いてきたで しょうか?忘れようとしてはいないでしょうか?「満州」「真 珠湾」をはじめ「ヒロシマ・ナガサキ」「沖縄」を知らない世 代が多くなった今、どのようにして伝えていったら良いので しょうか?これからの令和時代をどのように生きていくか、生命の大切さをどう伝えていくかをしっかり考えていきたいと思います。日本や地球のことも、自分自身のことも。

追伸一今年も都留文科大学合唱団の全国合唱コンクール金賞の朗報、おめでとうございます。現役の学生の皆さんがコロナに負けずに勉学にいそしみ、卒業生が全国各地でご活躍されんことを心より祈念申し上げます。

〈連絡先〉西部・大塲孝純 053-835-4779

中部・江川初枝 054-292-2231 東部・星屋 康 090-1289-0902 臼井 泰 090-2185-8147

活動はできなくても会報発行

京都府支部長 枡谷 雄三

昨年・今年とコロナ禍のため総会及び懇親会ができませんでした。役員会も予約していましたが、予約していた会場から「使用できない」と2度もキャンセルになりました。それで、メールで審議したり、ライングループを作り、映像付きの相談をしたりしました。

活動はできていませんが、『城山・桂川だより第10号』(4ページ立)は、発行しようということになりました。

11月の日曜日に石清水八幡宮の近くの喫茶店に5人が集まり発送作業をし、260人の会員に郵送しました。

たよりを折ったり封筒に詰めたりしながら、最近の学校の様子 (運動会や修学旅行などの学校行事が工夫して復活実施されていること、タブレットを使った授業のこと) 総選挙のこと (立会人をしたこと、略称が同じ「民主党」はなんとかならなかったのか!)、福田学長は今どうしておられるのだろう?などなど。やはり同窓生が集まると話に花が咲きますね。

第1面は写真の通りです。第2面は、現職の校長先生が名も知らない都留大を受験した時の苦労話や入試後に塩尻回りで都留へ行ったことなどを書いて下さいました。

第3面は、先のオリンピックの20キロ競歩で銅メダルを取った山西利和選手を高校のときから指導してきたFさんに原稿を

依頼しました。『教え子と共に向き合った東京五輪』の文はなかなか読み応えがありました。

2022年は、京都北部 で総会が開催できるこ とを祈りつつ。

【京都府支部役員】

相談役 酒井 好治 (S45年卒)

支 部 長 枡谷 雄三 (S45年卆)

副支部長 北村 友子 (S49年卆)

事務局長 草野 真 (S50年卆)



兵庫県支部の課題

兵庫県支部長 高谷 和久

コロナ禍の生活、兵庫県においては、令和2年3月1日に1 人の感染者が発生してから、今日(令和3年11月10日)まで、 多様な制限の中で何とか落ちつき、ウィズコロナの生活が定着 し始めております。

さて、都留文科大学同窓会兵庫県支部におきましては、何と か令和3年度の支部総会を開催したいと役員と相談している所 です。

令和元年度に予定しておりました、西播磨地区を中心とした 総会のメインは、「赤穂の塩田の歴史について」専門家を招い て、学習を深めようと考えているところです。

兵庫県支部も令和3年度総会で30周年という節目を迎えることになりましたが、役員の高齢化が進む中、新旧交代が困難な状況にあり、若い世代へのバトンパスが大きな課題となっております。

支部総会開催にあたっては、500余通の案内と共に、各地区毎に声かけをして参加を呼びかけておりますが、現役も退職者共に現場が多忙でなかなか参加者が増えない状況が続いているのが現状であります。

令和 2 · 3 年度 兵庫県支部役員(卒年度)

支 部 長 高谷 和久(S43年度初等)

副支部長 小林 伶子(S40年度初等)

副 支 部 長 後藤 純二(S47年度英文)

副 支 部 長 中山 貞二 (S54年度初等)

事務局長 庄田 康夫(S48年度国文)

事務局次長 松尾 弘子(S60年度初等)

会 計 小西 勝(S45年度国文)

会計監査 牛尾 英俊(S46年度初等)

理 事 山﨑 理樹(S62年度初等)

平 声 中間 生物(302年皮別号)

理 事 宮崎 佳宏 (S49年度初等)

理 事 青木 芳信(S41年度初等)

理 事 茶谷 紀元 (S39年度初等)

理 事 反橋 義明 (S60年度初等)

理 事 吉本 健治(S45年度初等)

理 事 中嶋 明美 (S40年度初等)

いつも心に灯を

奈良県支部長 岡田 善英

新型コロナウイルス感染症の猛威は、今年度も吹き続けました。今後は来年度に向けて第6波の流行に向けての感染対策が進められています。昨年度発行の同窓会報「第39号」の各支部の活動報告を読ませていただいても、コロナ感染拡大による影響から、残念ながら各支部の取組が延期や中止をせざるを得ない状況にあったことがうかがえます。

私どもの支部の取組も同様に、昨年度に引き続き今年度も総会・懇親会を中止いたしました。他県の同窓会の規模に比して少ない会員数ではありますが、これまでもお互いに声を掛け合い、ささやかでも楽しい会合を続けてきています。しかしながらこの2年間のブランクが、会員相互の交流の心細さや会員の高齢化による体調の維持に影響がないかと心配になります。

新型コロナウイルス感染症のトンネルはいつまで続くのでしょうか。5つ目のトンネルを抜け出た今、先の見えない風景に期待と不安を持ちつつ進むしかありません。送られてきた同窓会報「第39号」の裏表紙の「都留文科大学 今と昔」の昭和

41年頃の大学1号館の写真を拝見し当時を大変懐かしく思い出しました。都留文科大学同窓会の灯をいつまでもともし続けるために、来年度会員の皆さんに再会できたら。2年間の空白を埋めるほど話し合い楽しみたいと強く思っています。

〈令和2・3年度 奈良県支部役員〉

名誉会長 滝川佳市 会長 岡田 善英 副会長 高橋 強 山本 泰彦 監事 石田 好庸

理事 西尾八千穂 辻 明彦 米田 悦子 清水 直樹

池田 祐之

コロナ禍での支部の動き

和歌山県支部長 谷口 博保

ようやくコロナが下火になり緊急事態宣言が解除され、人の 移動も含めて何かが動き始めた気配がしてきました。

和歌山県では11月、12月でのコロナ感染者数発表では「ゼロ」が多くなってきています。

2020年2月22日の総会・懇親会以後の2年間の支部活動は少人数での役員会を数回開催しつつ、予定していた懇親会等は中止しました。

2年間の活動経過および今後の予定

2020年10月30日 役員会

2020年12月5日 役員会

2021年3月28日 役員会

2021年7月27日 事務局会

2021年11月28日 総役員会・昼食会

この後コロナ感染が拡大しなければ2年に一度の総会を通常 どおりに開催したいと思います。

2022年2月6日 役員会(予定)

2022年4月10日 総会・懇親会(予定)

今また新たな変異株感染が報告され始めています。終息の見通しがつきにくく予断を許さない状況ですが、安心して過ごせる日が早く来ることを願うばかりです。



心に響くハーモニーに感動

岡山県支部長 関野 茂夫

11月20日に第74回全日本合唱コンクール全国大会(岡山大会)が岡山市のシンフォニーホールで開催されました。都留文科大学合唱団は、みごと金賞第1位ならびに文部科学大臣賞を受賞、来年のシード権を獲得されました。県支部を代表して御祝い申し上げます。おめでとうございました。

さて、コンクール前日に私と会員で練習会場に出向き、激励 と少しでも活動に役立ててほしいと願い、支部活動費よりささ やかでありますが寄付をさせていただきました。

練習会場には素晴らしい歌声が響き、心地よく幸せな気分になりました。また、清水雅彦先生からコロナ禍を総勢60名の団

員が何班かに分かれて岡山まで移動したこと、今日初めてマスクをはずして練習したことなどを聞き、コンクールに対する学生の真摯な姿勢に、さすが現役都留大生だと感心させられました。当日は、何人もの県支部の会員が激励に駆けつけ、美しいハーモニーに魅了されました。



(天神山文化プラザにて)

今後ますますのご活躍を期待しています。

岡山県もコロナ禍の影響もあり、今年度も総会及び懇親会を 中止せざるを得ませんでした。今後とも少しずつ和を広げて充 実した活動ができるように頑張りたいと思います。

令和元年度に役員の改選が行われ、下記の役員が選出されました。

【新役員】

顧問 原田 直樹 菱川 徹 関野 茂夫 支部長 副支部長 中野 元雄 岩城 孝志 野﨑 博子 理事 金池 兼広 廣田 巨史 竹内 真二 監査 事務局 金池 兼広 野﨑 博子 竹内 充子



(令和2年2月8日 ピュアリティまきび)

長崎県内の都留文科大学同窓生の皆さん!

長崎県支部長 平山 繁壽

長崎県支部では、毎年「同窓会総会及び懇親会の案内状」を 郵送しています。

「離島及び遠隔地等との交流人事」等で居住地が変わることが多いので、同窓会会員名簿は住所が確認できた「登録了承者のみ」を記載しています。

会員名簿の現在の登録者数は57人です。長崎地区(12人)・佐世保地区(10人)・諫早大村地区(7人)・島原半島地区(14人)・五島地区(4人)・壱岐地区(4人)・対馬地区(6人)です。各地区には、それぞれ代表者と事務局がいます。

島部在住及び遠方等で総会に出席できない会員には、「総会 資料」と「県全体の会員名簿(希望者)」を送付しています。 また、出欠の返信ハガキ等で住所が変わった会員の動静の修正 を行っています。

未登録の同窓生で、県内在住が確認できている方は52人で、 住所等の未確認者数は133人です。

確認できている同窓生は教員及び元教員がもっとも多いですが、県職員・市職員・報道関係・会社員・住職・専業主婦等の様々な分野で活躍されています。

次に、長崎県支部の歴史を紹介します。支部設立は、平成13 年8月28日です。 初代支部長は柴田高明(佐世保)で、事務局長は明石 仁(上 五島)です。〈平成22年度まで〉

第2代支部長は西田正人(島原半島)で、事務局長は渡邊 林です。〈平成27年度まで〉

第3代支部長は平山繁壽(島原半島)で、事務局長は引き続き渡邊 林(島原半島)です。

〈令和3年度の役員〉は下記の通りです。

支部 長 平山 繁壽

副支部長 江口 匡彰 明石 仁 太田尾透一郎

事務局長 渡邊 林 監 事 尾崎 威敏

理 事 藤崎大吉郎 清水 正道 柴田 高明

川口 良輔 西田 正人 浦田 勝市 牟田 茂博 西谷 徳道 坂口 隆

平山 俊章 松島 修二

*会員名簿未登録者で登録希望の方は、下記までご連絡ください。

支部長 平山繁壽 (携帯) 090-8915-9131

E-mail shige.shinyo@outlook.jp

令和3年度の熊本県の現状

熊本県支部企画担当 杉 水 修

コロナ禍で昨年度から今年度にかけて、学校関係の様々な行事等は中止や延期になったり、オンラインでの開催になったりと、これまでとは違った対応が求められる日々が続いています。この原稿を執筆している時点では、熊本県内では感染確認ゼロの日が続いており、感染拡大防止に留意しながらも日常の教育活動が戻ってきつつあります。まだまだ油断はできませんが、子どもたちの健やかな成長のために、よりよい教育環境を整えようと日々努力していることは、どこの教育現場も同じだと思います。

そんな中、令和3年11月20日に会長以下熊本市内在住の役員3名が集まって役員会を開催し、支部総会や役員改正等について話し合いました。

隔年で開催していました支部総会ですが、コロナ禍で令和2年度は中止とし、令和3年度も開催を見合わせることといたしました。次回はぜひコロナも収まって、みんなで集まって総会が開けることを願っています。令和2年度は総会だけでなく講演会も予定していたのですが、次回はその内容を見直して有意義な会になるように考えているところです。今のところ令和4年10月中旬に開催する予定です。

熊本支部の卒業生で熊本県・熊本市の教職員採用試験にチャレンジしている人も多いと思います。そこで希望される方に採用試験の勉強会を開催します。

筆記試験は1人でコツコツと頑張ればある程度力を伸ばすことができますが、模擬授業や面接等は1人で本を読んだり机に向かって勉強したりするだけでは力は付きません。これまでに採用試験を受けて合格した卒業生の話を聴き、模擬授業や面接の練習をしていれば、本番であまり緊張せずに実力を発揮でき合格することができると思います。

また、どんな心構えで面接に臨んだらいいかということも しっかり伝えますので、自信をもって採用試験に臨むことがで きます。希望される方はご連絡ください。

※採用試験勉強についての連絡先

熊本市立碩台小学校 杉水 修

【携 帯】090-5296-1849

【メール】sugimizu.o@gmail.com

「同窓会連携事業おいしいものフェア」に出展

宮崎県支部事務局長 波岡 慎太郎

宮崎県支部は、活動の主眼を会員相互の親睦と福利厚生を図ることに置き、さらに母校の発展に寄与することを目的に平成9年10月25日に結成しております。

本支部も、隔年開催としている支部総会等の活動を新型コロナウイルスの感染拡大により延期しております。そのため、本支部での活動としましては、昨年11月6日に行われた道の駅つる「大学同窓会連携事業おいしいものフェア」に出展させていただいたことをご報告します。

宮崎県は「ふるさと納税日本一の都城市」等で有名な「宮崎牛」「芋焼酎」「マンゴー」がございますが、今回は私の住んでいる門川町にある新門トマト農園の「かどがわひなたのトマトジュース」を紹介させていただきました。『ひなたのトマトの美味しさがギュッとつまったトマトジュースです。新門さんの育てた滋養溢れる糖度9以上のフルーツトマトが、門川町特産の『平兵衛酢』と出会いました。さらっと飲みやすい、トマトが苦手な人にも飲んで欲しい逸品です。機会がございましたら、ぜひ、ご賞味ください。

残念ながら私自身はイベントに参加することができず、リニ アモーターカーの疾走する町並みや町中を駆け下る清流や楽山 からの眺望を脳裏に浮かべながら道の駅でのイベントに思いを 廻らせておりました。本年こそは、世の中が落ち着きを取り戻 し、総会などの活動の再開、大学や道の駅を訪ねることを願っ ています。

それでは会員の皆様をはじめ、ご家族の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げましてご報告に代えさせて戴きます。



体育会紹介

令和3年度 体育会会長 浜名 康生

早春の候、都留文科大学の同窓会の諸先輩方におかれま してはますますのご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和3年度体育会本部は「捲土重来」という基本方針の下、活動いたしました。近年鶴鷹祭で勝利できていない中、今年こそは勝利という花を咲かせたいという思いでしたが、新型コロナウイルスの影響により、鶴鷹祭や各部の春季リーグ戦等が中止になるという非常に残念な結果になりました。しかし、秋頃から徐々に各部の大会が開催されるようになり、現段階では来年の鶴鷹祭は都留の地で開催する予定であります。来年は鶴鷹祭が無事に開催され、久しぶりの勝利をあげられることを祈願いたします。

新型コロナウイルスの影響で新たな生活スタイルを求め

られる中で、我々が無事に活動できていることは、先輩方の多くのご支援、ご協力があってこそだと考えております。誠にありがとうございます。今後とも、都留文科大学体育会をよろしく願いいたします。



令和3年度 サッカー部主将 河野 稜大

今年度私たちサッカー部は、3部リーグ残留を目指して 練習に励んでまいりました。しかし、新型コロナウイルス の影響で前期リーグは中止になり、夏休みも練習が全くで きないという苦しい状況でした。部員のモチベーションを 保つのも難しく、また、リーグ戦が開幕しても過密日程と いうこともあり、試行錯誤した1年でした。結果も思うよ うなものが得られず、悶々としたシーズンでした。 サッ カーを当たり前にやってきた私たちにとってサッカーがで きない日々は辛い日々でした。改めてサッカーができる環 境に感謝しなければいけないと感じました。思うような結 果を残せなかった今年の悔しさを胸に後輩たちには頑張っ てもらいたいと思います。そして、このように私たちサッ カー部が部活動を続けられているのは体育会や保護者をは じめとする多くの方々のご協力のおかげです。そのような 方々への感謝を忘れず、これからも精進していきますの で、これからもサッカー部をよろしくお願いします。



令和3年度 弓道部主将 日 向 美 咲

今年度私たち弓道部は、多くの大会で結果を残せるよう 日々の練習に励んできました。新型コロナウイルスの影響 で、満足のいく活動ができたとはいえませんでしたが、部 員全員で試行錯誤しながら限られた時間の中で多くの練習 ができました。弓道部では、いくつかの大会がオンライン で開催され、例年とは異なる大会形式となりましたが、そ の中でも落ち着いて大会に挑み、全関東学生弓道選手権大 会では、女子団体及び個人の部で決勝大会に進むことがで きました。

このように私たち弓道部が活動できているのは、体育会本部並びに後援会、同窓会員の皆様のご協力、ご声援のおかげです。私たちの活動を支えてくださる方々への感謝の

気持ちを忘れず、これからも日々精進してまいりますの で、今後とも弓道部をよろしくお願い致します。



令和3年度 ワンダーフォーゲル部主将 松本 慧次郎

今年度、私たちワンダーフォーゲル部は「安全登山」をモットーに、日々ロープワークや歩荷など体力をつける朝練、そして知識を習得する机上講座を行なってきました。今年は1年生が20人以上入部してくれ、我々2年生も気合十分でした。しかし、今年度も、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響で、部活の一大行事である「夏合宿」を実施することができず、部員一同悔しい思いをしました。「山は逃げない」。この言葉を胸に、さらに結束を強めると共に再び万全の準備を整えて、来年度こそ「夏合宿」に挑戦したいと思います。そのために、一つ一つの山行を有意義なものにしていく所存です。

また、このコロナ禍でワンダーフォーゲル部が活動できていているのは体育会本部、OB、後援会の皆様のおかげ

です。これからも感謝の気持ちを忘れずに、日々精進しますので、今後とも体育会ワンダーフォーゲル部をよろしくお願いします。



文 化 会 紹 介

令和3年度 文化会会長 藤田 元樹

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお 慶び申し上げます。

今年度文化会においては、昨年度に引き続き感染症対策のため不自由な活動が余儀なくされましたが、全国的に年度後半以降の感染者数は減少傾向が続いたため、コロナ前の活動を取り戻しつつあります。「ウィズコロナ」の活動様式が当たり前となった今、所属団体にとってできる限り快適に活動できる環境を整備することが文化会本部の使命であり、そのための活動を日々行っているところです。

本年度は、活動自粛から再開へと向かう局面であり、所属団体はもとより文化会本部としても例年にない対応が多くありました。そんな中でも今日の文化会があるのは、ひ

とえに大学職員の方々をはじめ、全ての関係者の皆様の多 大なご支援・ご協力のおかげでございます。文化会を代表 して厚く御礼申し上げます。

今後とも文化会は、全ての関係者の皆様とともに感染症 対策に注力しつつ、より良い活動を実現すべく邁進してま いります。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたし ます。

吹奏楽部部長 菊地 希美

吹奏楽部は、スプリングコンサート、吹奏楽コンクール、 12月の定期演奏会を活動の軸に、地域の方々や中高生との 交流も大切にし、「都留の音楽を盛り上げる、都留を音楽 の街にする」ことを目指して活動しています。

今年度も新型コロナウイルスの影響を大きく受けた日々でした。スプリングコンサートはオンラインでの開催でした。夏の吹奏楽コンクールは、8・9月の活動禁止の中、録音審査などの紆余曲折を経て、創部以来の快挙となる全日本吹奏楽コンクールへの出場を果たし、銀賞をいただきました。

また、12月5日に開催した定期演奏会は、昨年延期となった第50回の記念演奏会でした。たくさんの方にご来場

いただき、日頃応援してくださっている皆さまへの感謝を お伝えできたのではないかと感じています。

まだ通常通りの活動、地域の皆さまとの交流は限られておりますが、これからも私たちの音楽を追い求め、みなさまにお届けして参ります。変わらぬご声援賜りたくお願い申し上げます。



マンドリンクラブ代表 古田 こころ

マンドリンクラブは、毎週月・火・金曜日に集まり練習をしています。マンドリン、マンドラ、マンドロンセロ、クラシックギター、コントラバスの5つの弦楽器で、ポップスから10分を超える大曲まで、幅広い曲を演奏しています。現在、部員14人のうち8割ほどが初心者で、大学生からでも気軽に音楽を始めやすいのが私たちマンドリンクラブとしての魅力です。

毎年12月に定期演奏会があり、そこが活動の集大成でありますが、今年度はコロナのため十分な練習時間を確保できず、定期演奏会を中止することになりました。現在は、来年度の新入生歓迎活動に向けて、定期演奏会に向けて練習しています。部員が少ない小規模の音楽団体ではありま

すが、聴いていただける皆様に素敵な音色と時間をお届けできるよう、これからも精進して参ります。今後ともマンドリンクラブをよろしくお願いいたします。



PES代表 宮本 朱

PESでは毎週月・木曜日に英語と触れ合う活動を行っています。英文学科公認サークルですが、英文学科の学生以外にも英語を学びたいという意欲を持った学生が集っています。活動ではTOEICや英検といった資格試験対策を行ったり、英語圏の文化を学んだりしています。また、こうして日々活動を行うことができているのは、同窓会の皆様をはじめとする多くの方々の支援をいただいているからです。この場をお借りして、皆様に感謝申し上げます。

英語学習というと難しいと挫けてしまいがちですが、 PESでは皆でわからないことを共有し、学びあうことで学 習を続けていくことができます。コロナ禍で活動ができな くなってしまったこともありました。しかし、今年度は昨 年度よりも活動できることが増え、部員と顔を合わせて学びあうことを楽しむという PES 本来の活動を取り戻すことができたように感じます。「継続は力なり」という言葉もある通り日々の小さな積み重ねが今後の力になっていくと信じて今後も活動を続けていきたいと思います。



本学における 新型コロナウイルスワクチン 職域接種を終えて

新 型コロナウイルス感染症は、本学においても対面授業の機会が大きく失われるなど、通常の大学での生活を送ることに制限をかけることを余儀なくされたり、海外留学の夢を実現することが難しくなってしまった学生がいたり、さらには課外活動やアルバイトなどもできなくなったり、様々な社会経験をつむ機会を失いました。



このような状況において、令和3年6月7日に内閣官房長官より企業や大学で行う「新型コロナウイルスワクチン職域接種」の申請受付を開始する旨の発表があったことを受けて、本学では、学生・教職員の健康を守り、さらにワクチン接種に関する地域の負担を軽減し、接種の加速化を図るため6月末に申請をいたしました。

この間、大学事務局にワクチン班を立ち上げ、ワクチン接種を希望する学生及び教職員を把握するためのアンケートの実施や医療機関、実施日程、接種方法等の打ち合わせを重ねる中、8月に厚労省から実施の承認通知を受け、山梨大学医学部付属病院の協力により1回目のワクチン接種を9月4日・5日、2回目のワクチン接種を10月2日・3日の日程により、予定人数1,600人を対象に実施することを決定しました。

実施日程が決まってからは、ワクチン班に よるミーティングを数多く重ね、安全かつ効 率的な接種体制を構築するためにはどのよう



にしたらよいか四苦八苦の連続でしたが、当日は、接種者が約30分間の滞在時間で円滑に接種を実施することができました。また、接種後の副反応がある学生にも医師・看護師による迅速な対応により、安心して運営することができました。

今回のワクチン職域接種は、4日間にわたり、医療従事者延べ87人、大学事務職員延べ74人が業務を担う一大事業となりましたが、1,468人が2回目の接種を無事に終了することができました。

今後において、学生が1日も早く安心して 生き生きとした学生生活を送ることができる ことを願い、実施にあたりご協力いただきま したすべての皆様に心から感謝申し上げま す。





新棟建築工事着工!!

旧南都留合同庁舎の建物と土地を活用した 新棟建築工事に着手しました。

新棟イメージムービー



https://youtu.be/k99pvaGXRGU





令和3年9月7日(火)には新棟の工事安全祈願祭を 行い、藤田学長をはじめ堀内富久都留市長など関係者 約20名が出席しました。



2009年に「公立大学法人」に移行し、創立60年以上 経つ都留文科大学は、『菁莪育才』を学訓に時代の変 化に迅速に対応できる幅広い教養を備えた職業人、社 会人の育成を行う「知の拠点」としての役割を担って います。この歴史を受け継ぎ、全国から学生が集う独 自な特性・恵まれた自然環境・開学より温かな関係を 築き上げてきた地域の人々とのつながりを大学運営に 有効に生かしたキャンパス整備を行います。





2階のカフェコモンズ(イメージ)。市民も活用できる 利便性の高いスペースを設置します。



その他3階の多目的教室には3Dプリンターなどのデジタル機器、工作機器を設置し、ものづくりの拠点となる空間を整備します。



3・4階のラーニングコモンズ(イメージ)。自学自習や学生間の交流、公開講座等を自由に行える共用スペースとして設置します。

新棟は鉄筋コンクリート 4 階建で、総敷地面積は約10,000㎡、延べ床面積は約3,800㎡。学生と地域住民の交流拠点にもなるような計画で、1 階には市民や学生が自由に出入りできるカフェを開設します。また、事前予約をすれば市民も利用できる多目的教室も設備します。3 階には教員を目指す学生が教育実習の練習に利用できる模擬教室を設置するとともに、これまで1号館等にあった教職支援センターを移転し、教員養成大学としてのブランド力向上を目指します。



公式 Instagram



 $https://www.instagram.com/tsuru_university/\\$

大学の風景や学生たちの様子、ちょっとした出来事など、大学案内では伝えきれないツルブンの魅力を発信しています。四季が感じられる自然豊かなキャンパスや、学内外問わず学生たちが作り出す地域に根差した活発な活動の様子をぜひご覧ください。

「道の駅つる」都留文科大学連携イベント開催

都留文科大学同窓会の皆様にはますますご健勝のこととお慶びを申し上げます。

コロナ禍による新しい生活様式にも慣れてきましたがいかがお過ごしでしょうか。今年もより素晴らしい1年 になりますようお祈り申し上げます。

貴会には平素より大変お世話になっております、株式会社せんねんの里つる(道の駅つる)と申します。

私共「道の駅つる」は皆様方の青春時代を過ごされた都留市に平成28年11月5日に県内初の「重点道の駅」として、開設いたしました。

地元市民をはじめ首都圏や各都道県の観光客に立ち寄っていただき、年間約70万人もの来場者が訪れる施設になっております。

都留文科大学連携は開設初年度から期間限定で定期的なイベントとして「道の駅つる」に華を添えていただいております。

今回5周年の節目を迎えるにあたり、連携事業初の試みとして全国各地からお勧めの逸品をご紹介いただきました。地元同窓会事務局の担当者をはじめ、各都道府県の同窓会の支部長の方々には大変お世話になり、心から感謝申し上げます。

お陰様で、令和3年11月6日の周年祭ではコロナ禍のイベントのため、制約はあるものの、10月以降コロナの感染者が減少してきたこともあり、多くの観光客、地元のお客様にご来店いただき、大変賑やかな1日でした。

これもひとえに今回協力していただいた、各都道府 県の同窓会の支部長のご支援があってのことと改めて 感謝申し上げます。





この度ご協力いただきました支部長様のご紹介

北海道支部長 北田則章様 高橋節夫様 岩手県 〃 山形県 " 白林和夫様 群馬県 " 齋木雄造様 石川県 " 谷内誠一様 長野県 " 市場香代子様 百瀬 隆様 愛知県 " 大阪府 藤田明彦様 広島県 " 小谷桂司様 愛媛県 " 谷川忠孝様 宮崎県支部事務局長 波岡慎太郎様

山梨県にお出かけの際には、どうぞ「道の駅つる」にもお立ち寄りいただければとお願い申し上げます。地元の生鮮野菜をはじめ、ぶどうや桃など山梨県ならではのお土産品、信玄餅やとりもつ煮など多数取り揃えてスタッフ一同お待ちしております。

今回のご縁を大切に更に良い生鮮野菜やお土産品の販売ができるよう鋭意努力してまいる所存でありますので、今後とも変わらぬご協力を賜りますよう何卒お願い申し上げます。



令和2年度 都留文科大学同窓会会計収支決算書

◆収入の部 (単位:円)

項	Į	目	当初予算額	補正予算額	予算現額	収入済額	備	考	
入	会	金	4,290,000	5,000	4,295,000	4,295,000	859人× 5,000円=4,295,000円		
終	身全	費	8,580,000	10,000	8,590,000	8,590,000	859人×10,000円=8,590,000円		
繰	越	金	3,107,590	0	3,107,590	3,107,590	令和元年度繰越金		
雑		入	60,000	0	60,000	1,488	預金利息		
収	入 台	计	16,037,590	15,000	16,052,590	15,994,078			

◆支出の部 (単位:円)

V ×	Щоды						(丰區・1))
項	Į	目	当初予算額	補正予算額	予算現額	支出済額	備考
事	業	費	10,570,000	0	10,570,000	7,801,855	
会	報多	6 行費	3,200,000	0	3,200,000	3,159,035	同窓会報第39号(令和2年度発行)
支	部則	的成金	3,800,000	0	3,800,000	3,730,000	東京 神奈川 山梨 長野 静岡 愛知720,000円(@120,000円×6支部) 北海道 富山 石川 兵庫 岩手 千葉660,000円(@110,000円×6支部) 宮城 埼玉 福井 岐阜 大阪 広島 徳島 岡山 群馬 栃木 1,000,000円(@100,000円×10支部) 山形 三重 京都 島根 愛媛 長崎 鹿児島 沖縄 青森 810,000円(@90,000円×9支部) 滋賀 和歌山 鳥取 熊本 宮崎 400,000円(@80,000円×5支部) 奈良 高知 140,000円(@70,000円×2支部)
支	部設式	̄準 備 金	300,000	0	300,000	0	
新	入 学	名 祝 費	700,000	0	700,000	512,820	令和3年度入学祝 新入生記念品
		作成費		0	120,000	0	
教学		用 試 験 会 費		0	450,000	150,000	宮城 富山 群馬 兵庫
被	災地支	援活動費	2,000,000	0	2,000,000	250,000	被災地支援金(宮城 熊本)
会	議	費	2,000,000	0	2,000,000	0	
総	ź	き 費	0	0	0	0	
理	事分	き 費 等	2,000,000	0	2,000,000	0	
同;	窓 会 :	本 部 費	2,560,000	0	2,560,000	1,028,430	
事	矜	· 費	250,000	0	250,000	135,042	
運	莒	曹	1,850,000	0	1,850,000	750,165	賃金負担金700,000円含む
慶			,	0	340,000	23,223	卒業式祝い生花代ほか
本	部役員	員活 動 費	120,000	0	120,000	120,000	令和2年度役員報酬
積	立			0	0	0	
予	備			15,000	922,590	0	
支	出	合 計	16,037,590	15,000	16,052,590	8,830,285	

(収入済額) (支出額) (収入·支出差引残高額)

15,994,078 - 8,830,285 = 7,163,793

○令和2年度 基金積立及び取崩状況

◆財政	改調整基金積立金額	0円
◆ 大	学創立記念事業基金積立金額	0円
積、	立金合計額	0円
◆財政		0円
◆ 大	学創立記念事業基金取崩金額	0円
取詞	前金合計額	0円

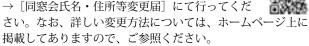
令和2年度末 基金の内訳	
財政調整基金	5,647,837円
大学創立記念事業基金	28,524,948円
計	34,172,785円

氏名・所等変更はホームページ・E-mail・郵便はがき・FAXでお願いします

結婚・転居等により住所や氏名等を変更された方は、次の必須事項及び変更内容を、いずれかの方法によりお知らせください。郵便はがきでの氏名・住所等変更届の場合は、はがきは自己負担でお願いします。

1 ホームページ

(1)ホームページより [卒業生の方へ] → [同窓会]



都留文科大学ホームページ

URL: http://www.tsuru.ac.jp

(2)ホームページ上にて氏名・住所等変更届けを行う際には、次のパスワードが必要となります。

パスワード: tbdh2206

(半角英数) ※同窓会会員以外による不正使用がないよう、 パスワードの管理にはくれぐれもご注意ください。

2 E-mail にて送信

E-mail: dousokai@tsuru.ac.jp

3 FAX・郵送

〒402-8555 山梨県都留市田原 3-8-1 都留文科大学同窓会 宛 TEL 0554-43-4341 内線206 FAX 0554-43-4347

◎必須項目	○変更内容
氏名(フリガナ)/旧姓	現住所/電話番号
卒業年・学科	勤務先名
生年月日	勤務先住所/電話番号
	勤務先の役職

※住所移転等で同窓会報がお手元に届かない場合がありましたらご連絡ください。

都留文科大学







谷村町駅 (谷村城下町駅) (現在)



谷村町駅 (昭和61年)



大学前駅



